

## 山 行 報 告 書

山行報告提出者：鈴木

山 域・山 名：大喰岳 (3,101m)、中岳 (3,084m)、南岳 (3,032m) 長野県松本市	
入山日：平成30年9月6-8日 (木-土) 2泊3日	
プラン担当者 正： 鈴木 副：	東鎌より槍ヶ岳と北鎌を仰ぐ 9/6
参 加 者 L：記：鈴木 男 1名、女 名、計 1名	
天候：9/6 晴れ 9/7 暴風雨 9/8 暴風雨 のち普通の雨	
9月5日(水)	集合時間： 午後22：10 集合場所： JR新宿駅 バスタ新宿
9月5日(水)	22：25発 さわやか信州号(バス)にて上高地へ向かう。
9月6日(木)	05：10上高地着、05：50発-08：30横尾-10：00槍沢ロッジー 12：45水俣乗越-(東鎌尾根)-15：30槍ヶ岳山荘(小屋泊) 行動9h40
9月7日(金)	04：30起床、待機、-08：00出発-08：40大喰岳-09：20中岳- 10：30南岳-南岳小屋泊 行動2h30
9月8日(土)	04：30起床-06：00発-08：30天狗池-09：15大曲-10：00槍沢ロッジ -11：00横尾-13：30上高地、高速バスで新宿経由帰宅 行動7h30
荒天候時のエスケープルート： 各近隣の小屋で待機、9/8は岳沢への下山も考慮。	
装 備 と 食 糧	共同装備：無し 共同食：なし 車提供者：なし
	個人装備：テント一式、マット、シュラフ(カバー含)、ヘッドランプ、雨具、防寒衣、コンパス、地図、替衣類、医薬品、ガス式、コッヘル、コップ、水、グローブ、スパッツ、ストック、帽子、カメラ 個人食：食事x8、行動食、非常食
感 想	<p>覚悟はしていたものの悪天のため槍穂縦走は9/7朝の段階であきらめ南岳までのミニ縦走に切り替え下山した。</p> <p>9/6 横尾からは2日前の台風のためか、何本もの大きな倒木がルートをふさぎ、登ったりくぐったりではなはだ歩きにくい。大曲からの急登に息絶え絶えで水俣乗越にたどり着き稜線を少し上がると、槍をはじめ大天井、鷲羽、鹿島、白馬と北アのオールスターたちのお出迎えを受けた。丸太の梯子をいくつも通過しつつテン場の込み具合が気になったが、殺生にテントが見えず-安心し槍の肩に到着。(3年前、槍のテン場が満員で殺生まで下ろされた)明日の天候が風雨とも強いことがわかり、小屋泊に切り替えまったりとくつろいだ。</p> <p>9/7 予想通りの暴風雨、帰るか、停滞するか、稜線を行けるところまで行くか考えたが、南岳小屋まで歩くことにした(キレット越えは無謀)。 稜線では雨が水平に降るといふか移動しており顔が豆鉄砲をくらったように痛い。小屋到着後、午前中から小屋内をうろうろしていたが結局この日の宿泊者は私一人のみ、あの天気では当たり前かと自分の物好きさにあきれてしまう。</p> <p>9/8 この日も暴風雨、一時間ほどの稜線歩きから上高地側の下降路に入ると風はほとんど無くなり歩きやすくなはったが、岩稜帯が続く全く人の気配がない中、慎重に下降した。せっかくの天狗池もただ雨の波紋を残すのみで逆さ槍の姿も見えない。 結局悪天のため休憩を取る気にもならず、横尾で一休みしただけで上高地まで歩きとおした。大腿四頭筋が年を考えてくれと悲痛な叫びをあげていたことは言うまでもない。</p>